

令和4年度

推薦Ⅰ 入学試験問題
学校教育コース 教育心理学専攻
(小論文)

注意事項

1. 「解答をはじめ」の合図があるまで、冊子を開かないこと。
2. 問題は全部で2問である。両方とも解答すること。
3. 受験番号は、解答用紙上の指定された箇所に必ず記入すること。すべての解答用紙に記入すること。
4. 試験終了後、問題用紙・解答用紙ともに回収するので、持ち帰らないこと。

問題 1 (配点 60)

以下の文章を読み、設問の解答を「解答用紙 (問題 1)」に記述して下さい。

著作権の関係上，公開しません。

著作権の関係上，公開しません。

(出典：梶田正巳著『学びの教育文化誌』ナカニシヤ出版 2004 年)
(出題箇所：P148－P150)

設問 1

著者は、三つの学力のうち、とくに第三の自問自答する学力の重要性を説いているが、この著書が刊行された 2004 年の時点で現代のアクティブラーニングの趣旨とその必要性を見通しているといえる。あなたが子どもたちを教育する側に立ったとき、どのようにして子どもたちの「自問自答」の能力を引き出そうと考えるか、解答用紙（問題 1：設問 1 の解答欄）に記述してください。

設問 2

さらに、あなたが大学の教員養成学部への進学を目指すにあたって、現時点でのあなた自身の「自問」と「自答」について論述してください。

その際、小学校時代、中学校時代、高校時代を通じてどのようなアイデンティティーを形成してきたと考えているか、そのあたりのことも論述に加えてみてください。

もちろん、まだ大学生ではありませんので「自答」については未確立でも構わないのですが、その場合でも、このような「自答」になりそうだという見通しを、解答用紙（問題 1：設問 2 の解答欄）に記述してください。

問題 2 (配点 40)

「教師は五者たれ (五者であるべきだ)」とよく言われます。この言葉は、教師として必要な資質・能力を表す言葉として用いられます。五者とは、① 医者 ② 学者 ③ 役者 ④ 芸者 ⑤ 易者 とされています。

①から⑤について、教師のどんな仕事にそれが当たるのか、具体的に明らかにし、その重要性についてあなたの考えを述べてください。

(*易者とは、易の占いを仕事にしている人。)

解答用紙 (問題 2) に記述してください。

